

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業N o.		2-	5
事業名	コミュニティバス事業費	会計 一般	款 2 項 1 目 12
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	政策課
施 策	9-3 公共交通網の維持・確保	係名	政策係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者が公共交通としてのオレンジバスを利用して、移動ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジバス3台による運行委託 ・地域公共交通会議による生活交通確保維持改善計画の策定と効果検証、地域公共交通計画の効果検証 ・バスロケーションシステムによる利便性の確保と利用者データの把握 		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	オレンジバスの乗車人員	74,515	76,892	75,355	人	↑	↗
	2	新たな技術や移動手段などの取り組み事業数	0	0	0	事業	↑	1
	3	オレンジバスを普段利用している町民の割合	-	-	-	%	↑	7
	4							
	5							
			令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(予算)	
全体事業費(千円)			86,675		79,598		80,500	
財源内訳	うち一般財源		70,874		42,133		57,080	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	R5年度に実施したルート、ダイヤ変更に伴う情報発信やIC化の検討、生活交通を考える会との啓発活動等を行う。	③取組の課題	乗車人員の増加に向けた、情報発信や利便性の向上。
②R6年度に実施した取り組み	生活交通を考える会の活動等で町内イベントで啓発活動、出前講座やフレイル教室を活用した高齢者向けの講座、四日市大学生に向けた公共交通講座を実施。	④今後の改善計画	情報発信や啓発活動の実施、地域公共交通計画の策定、バスのIC化を実施に向けた準備、デマンド交通やライドシェア等の研究を行う。